

## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年11月7日

上場会社名 株式会社アズジェント 上場取引所 東  
 コード番号 4288 URL <http://www.asgent.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉本 隆洋  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画本部長 (氏名) 葛城 岳典 TEL 03-6853-7401  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	1,277	△19.4	△154	—	△151	—	△99	—
26年3月期第2四半期	1,584	△8.5	19	△83.7	22	△81.8	9	△88.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	△25.90	—
26年3月期第2四半期	2.43	—

(注) 当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	2,420	1,827	75.4
26年3月期	2,594	1,963	75.6

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 1,824百万円 26年3月期 1,961百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	500.00	500.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期（予想）	—	—	—	5.00	5.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。平成26年3月期以前の配当金については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

### 3. 平成27年3月期の業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,200	△4.3	△100	—	△100	—	△70	—	△18.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	3,959,500株	26年3月期	3,959,500株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	127,846株	26年3月期	92,100株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	3,843,454株	26年3月期2Q	3,902,000株

(注) 当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続が実施されております。この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第2四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期における我が国経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策により、企業業績や雇用情勢の改善がみられ、景気回復基調にあります。夏場の天候不順や消費税率の引き上げによる駆け込み需要の反動に加え、ガソリン価格の高騰、輸入原材料の上昇など消費マインドの低下が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

ネットワークセキュリティ関連においては、WEBサイト改ざんやクレジットカード情報及び個人情報の流出、不正送金などの報道が日常化しております。そのような中、インターネットバンキングに係る不正送金被害額は、2014年上半期で昨年1年間の被害額をすでに超えるなど、セキュリティ脅威の多様化、被害の深刻化が進展しております。サイバーセキュリティ基本法案が国会に提出される等、政府や官公庁も追加的な対応策を講じる動きを見せており、ネットワークセキュリティの重要性がより一層高まっております。

このような環境の下、健全な財務体質を背景に、当社はビジネス環境の変化に対応し中長期的な成長基盤を確実にするために、収益構造変革（商品販売ビジネス主体から、当社コンサルノウハウを生かした商品組合せ型サービスビジネス主体への変革）に伴う先行投資を、前年同様に引き続き推進しております。

当第2四半期の主な取り組みとして、7月にはリスト型攻撃対策の一環としてトークンレス二要素認証ソリューション「PINsafe」の販売代理店契約を締結、8月にはクラスメソッド社とアマゾンウェブ サービス（AWS）に特化したマネージドセキュリティサービス（MSS）で協業を開始、9月には横行するDDoS攻撃やWebサイト改ざん等の被害からWebサイトを守るためのクラウドサービス「セキュリティ・プラス Webサイトプロテクションサービス」の提供を開始しました。

業績につきまして、売上高については、期初に見込んでいた大型案件の規模縮小やサービスビジネスの立上りが遅れたため、1,277百万円（前年同期比19.4%減）となりました。利益面については、サービスビジネスの立上りの遅れにより、プロモーション活動等の一部が下期にずれ込んだため、営業利益▲154百万円（前年同期比-）、経常利益▲151百万円（前年同期比-）、四半期純利益▲99百万円（前年同期比-）となりました。尚、サービスビジネスの本格的な収益貢献は、来期以降の見通しです。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末の総資産額は2,420百万円となり、前事業年度末に比べ174百万円減少しました。これは主に、現金及び預金が109百万円、売掛金が377百万円減少した一方、前渡金が276百万円増加したことなどによるものであります。

負債合計は592百万円となり前事業年度末に比べ38百万円減少しました。これは主に、買掛金が71百万円、未払金が53百万円減少した一方で、短期借入金が50百万円増加したことなどによるものであります。

純資産合計の1,827百万円については前事業年度末に比べ136百万円減少しました。これは主に、四半期純損失99百万円の計上、自己株式の取得17百万円、配当金の支払19百万円があったことなどによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

詳細につきましては、本日（平成26年11月7日）公表いたしました「平成27年3月期 第2四半期累計期間の業績予想と実績の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ（非連結）」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,142,677	1,033,618
売掛金	914,322	537,111
商品及び製品	34,059	45,066
仕掛品	663	2,038
前渡金	456	277,447
前払費用	25,462	31,437
繰延税金資産	19,128	71,009
その他	41,213	13,132
貸倒引当金	△27	△16
流動資産合計	2,177,955	2,010,846
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	48,969	52,578
工具、器具及び備品(純額)	191,018	172,306
土地	1,854	1,854
有形固定資産合計	241,843	226,739
無形固定資産	43,685	53,665
投資その他の資産	131,414	128,924
固定資産合計	416,943	409,329
資産合計	2,594,898	2,420,175

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	297,357	225,628
短期借入金	50,000	100,000
未払金	109,252	55,522
未払費用	29,932	30,595
未払法人税等	3,392	3,234
未払消費税等	9,384	—
前受金	273	1,363
預り金	5,112	6,286
前受収益	4,368	5,233
賞与引当金	36,387	41,520
その他	828	34,913
流動負債合計	546,288	504,298
固定負債		
退職給付引当金	84,904	88,513
固定負債合計	84,904	88,513
負債合計	631,193	592,812
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	771,110	771,110
資本剰余金	705,200	705,200
利益剰余金	525,031	406,143
自己株式	△40,226	△57,572
株主資本合計	1,961,114	1,824,881
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6	△102
評価・換算差額等合計	6	△102
新株予約権	2,584	2,584
純資産合計	1,963,705	1,827,362
負債純資産合計	2,594,898	2,420,175

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	1,584,286	1,277,679
売上原価	1,032,007	822,110
売上総利益	552,278	455,569
販売費及び一般管理費	532,854	610,281
営業利益又は営業損失(△)	19,424	△154,711
営業外収益		
受取利息	131	115
為替差益	646	112
補助金収入	1,732	—
消費税差額金	—	2,937
その他	752	840
営業外収益合計	3,263	4,006
営業外費用		
支払利息	427	266
自己株式取得費用	—	177
その他	1	167
営業外費用合計	428	612
経常利益又は経常損失(△)	22,258	△151,317
特別利益		
新株予約権戻入益	415	—
特別利益合計	415	—
特別損失		
固定資産除却損	312	231
特別退職金	1,044	—
特別損失合計	1,357	231
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	21,316	△151,549
法人税、住民税及び事業税	9,717	1,168
法人税等調整額	2,103	△53,167
法人税等合計	11,821	△51,999
四半期純利益又は四半期純損失(△)	9,495	△99,550

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	21,316	△151,549
減価償却費	41,904	44,149
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△60	△11
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,545	5,133
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△661	3,609
受取利息	△131	△115
支払利息	427	266
為替差損益(△は益)	1,159	△1,902
有形及び無形固定資産除却損	312	231
売上債権の増減額(△は増加)	357,806	377,211
たな卸資産の増減額(△は増加)	41,564	△12,383
仕入債務の増減額(△は減少)	△101,814	△71,729
前渡金の増減額(△は増加)	△79,218	△276,991
未払金の増減額(△は減少)	△46,895	△40,065
その他	21,207	21,138
小計	255,370	△103,008
利息及び配当金の受取額	131	115
利息の支払額	△430	△248
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△22,822	29,605
営業活動によるキャッシュ・フロー	232,249	△73,536
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△42,891	△28,244
無形固定資産の取得による支出	△1,565	△24,312
会員権の取得による支出	△3,466	—
有価証券の償還による収入	—	1,825
その他	250	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△47,673	△50,731
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	—	△17,346
短期借入金の純増減額(△は減少)	△25,000	50,000
配当金の支払額	△19,390	△19,347
財務活動によるキャッシュ・フロー	△44,390	13,305
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,159	1,902
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	139,025	△109,059
現金及び現金同等物の期首残高	1,107,845	1,142,677
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,246,870	1,033,618

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。